



真宗大谷派【東本願寺】光西寺 発行
雲仙市愛野町甲 271
☎ 0957-36-0103

お寺のホームページ
アクセスお待ちしております！

「亡き人を案ずる私が亡き人から案ぜられている」

「このたびは何かと忙しいなか、曲げてお参りいただき、ありがとうございます」、さまざまな予定を繰り合わせて集まってくださった方へのお礼の言葉としてよく聞かれます。

「忙しい」とは「心」が「亡（ほろ）ぶ」と書きます。日ごろ、「忙しい、忙しい」と、心が亡んでいる私たちに、「今一度、ここへ座って、自分の生き方を見つめ直せ」と、亡き人が呼びかけてくださっているのではないのでしょうか。「こちらから向こうへ」ではなく、「向こうからこちらへ」という転換を促してくださるのが仏さまのおこころなのだと思います。

「曲げて」ということも、予定を曲げて、というだけではなく、「膝を屈して敬う」という「南無」、「帰命」、「ナマス」ということにつながる言葉です。ただ予定を曲げて集まるということに限らず、膝を曲げて座らせてもらう、お参りさせてもらう、ということでしょう。

現代、なかなか正座が好まれない生活スタイルとなり、お寺にも椅子がたくさん並んでいます。膝を曲げて敬うという心だけは忘れずにいたいと思います。

宗祖親鸞聖人御命日・追弔法会 ごあんない

2023年1月28日（土）～29日（日）
午前9時30分から12時まで

28日（土）夜8時「夜の集い・推進員の集い」

お参詣お待ちしております。